

特殊詐欺対策通信

特殊詐欺発生状況 ▶ 令和4年1月～8月の状況

8月中	件数	金額	1～8月	件数	金額
R4年	9	約4,460万円	R4年	107	約2億3,040万円
R3年	18	約2,670万円	R3年	86	約2億1,920万円
増減	-9	約1,800万円	増減	+21	約+1,110万円

手口ピックアップ! ▶ 高額被害の架空料金請求詐欺を認知

8月中は、SMSから始まる高額被害の架空料金請求詐欺を認知しました。

認知した架空料金請求詐欺の手口

携帯電話にサポートセンターを名乗る者から「確認したいことがあります。連絡をください。」旨のSMSが届く。

表示された電話番号に電話を掛けると、「未納料金があります。支払わなければ裁判になります。」などと言われる。

日本保護協会を名乗るものから電話があり、「あなたの携帯電話からウイルスが拡散され、多くの被害者が出ている。」「保証制度のある保険に入りますか。」などと言われる。

信じると、保険料として金銭を要求され、指定された口座に振り込みを要求される。

日本セキュリティ協会を名乗る者から電話があり、「ウイルスで被害を受けた会社が大きな損害に遭った。損害額を払うことができますか。」「保険に入れば被害額を保証する。」などと言われ、保険代を請求される。

最終的に「保険代の過払い金は国が補償してくれる。」などと言われ、何度も金銭の振込を続けさせられる。

高額被害

トピックス ▶ 特殊詐欺被害の未然防止

8月中、広島銀行倉敷支店では、「利用料金が未納です。」旨の連絡を受けて振り込みをするために来店した来店客から話を聞くなどして架空料金請求詐欺被害を未然に防止することができました。また、ローソン備前伊部久保田店、セブンイレブン総社中央5丁目店、ファミリーマート玉野長尾店等では、電子マネーカードを購入しようとした来店客に店員が声をかけたことにより、架空料金請求詐欺被害を未然に防止することができました。このほかにも、金融機関やコンビニエンスストアで合計26件の特殊詐欺被害を未然に防止することができました。

ココに「技あり」!

各店舗において、利用客に対し、声掛けや、しっかりと話を聞いていただいたことで特殊詐欺を見破り、被害を未然に防止することができた好事例です。